

Q 33 最近，ベンチャービジネスという言葉が新聞によく出ていますが，こうした新しいビジネスを起こすような人材を育成するために，大学では何か取組を行っているのでしょうか？

A ベンチャービジネスなどの新しいビジネスを起こすには，創造的な起業家精神を有し，高度な技術を身に付け，それを事業化できる能力を有する人材の育成が重要です。このため，各大学においては，次のような取組が進められています。

教養教育の重視と専門科目の開設

大学においては，創造性，主体性に富んだ人材の養成に資するため，課題探求能力の育成を図る観点から学部における教養教育を重視し，授業方法やカリキュラム等の工夫・改善に取り組むとともに，多くの大学や大学院において，「ベンチャービジネス論」など，多様な内容のベンチャービジネスに関連する授業科目が開設されているほか，専門のコースが設けられている大学もあります。

連携大学院の整備

連携大学院とは，学外における高度な研究水準を持つ国立試験研究所や，民間等の研究所の施設・設備や人的資源を活用して大学院教育を行う大学院のことを言います。平成11年度現在43大学（国立33大学，公立3大学，私立7大学）の大学院で整備されています。

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーの整備

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーは，新産業創出のためベンチャービジネスの萌芽^{ほうが}ともなるべき独創的な研究開発を推進するとともに，高度に専門的な職業に必要な能力を持つ創造的な人材を育成することを目的とするものです。具体的には，半導体，マルチメディア・コンピュータなど将来の我が国産業を支える基盤技術についての研究開発プロジェクトを実施しており，平成10年度現在国立の理工系27大学の大学院に設置されています。

学術フロンティア及びハイテク・リサーチ・センターの整備

私立大学の中には、優れた研究実績をあげ、将来の研究発展が期待される卓越した研究組織として文部省の「学術フロンティア推進拠点」に指定され、「共同研究推進センター」を整備して、内外の研究機関との共同研究を推進している大学もあります。

また、文部省の「ハイテク・リサーチ・センター」に選定され、最先端の研究開発プロジェクトの推進に必要な研究施設、装置、設備等に対する補助を受けている大学もあります。